

2・1年次 大学模擬授業(出張講義) 講座一覧

日時： 2017年11月9日(木) 13:25~14:55(90分)

横浜市立戸塚高等学校

座番	講座名(系統)	学校名	テーマ・授業内容(予定)
1	歴史学	駒澤大学	『太平洋戦争への道～松岡洋右と日独伊三国軍事同盟締結～』 日独伊三国軍事同盟の締結過程における松岡洋右の思想と行動を検討するとともに、同盟の締結が日米関係を悪化させていった点を詳述することによって、日本が太平洋戦争へ向かった原因を明らかにする。
2	日本文学・心理学	東洋学園大学	『漫画やアニメの「こころ」を読み解く』 「こころ」とはいったい何でしょう。毎日、いろいろなことを考えたり、思ったり、時には‘はっ’とする思いに、自分自身がびっくりしたり。そんな不思議な心の動きを、漫画やアニメの作品を通して覗いてみます。
3	英文学	関東学院大学	『英語の歴史と英語の詩』 英語を勉強する上で常識的な英語の歴史を概観し、英文学の中でも重要な存在の英詩について、簡単な代表作を紹介し説明する。
4	外国語(英語)	フェリス学院大学	『なぜ外国語を学ぶのか』 私たちにどうして外国語を学ぶことは一体どんな意味を持つのでしょうか?皆さんの多くの方も「英語は重要だから」とか「外国語はこれから必要だし」など漠然と思いを巡らせることはあったと思いますが、その理由や真義とはいったい何なのでしょう?この講義ではもう一歩踏み込んで、「何のために英語を学ぶのか」そして「英語学習の意義とは」について考えてみたいと思います。
5	観光学	杏林大学	『あの店の感動のサービス、あの夢の国のホスピタリティを科学する』 あの店の感動のサービス、あの夢の国のホスピタリティはどうやって実現されているのだろうか。スタッフの努力や心がけなのか、それとも怖いマネージャーや店長の存在か、はたまた偶然やサプライズなのか。企業やお店がサービスやホスピタリティを常に高いレベルで保つための秘密は、お客を満足させ感動させるための研究や人材育成、何より仕組みづくりにあります。「ときどきすごい」より「いつもいい」サービスやホスピタリティについて考えます。
6	国際学	桜美林大学	『国際政治と国内政治』 一つの国の中で政治(たとえば日本の政治)と、国境を越えた関りを作る(たとえば外交、貿易、紛争)国際政治は、どのようにつながっているのかを解説します。
7	法学	成城大学	『労働生活と法～職場での労働者の権利はどのようにして保護されているのか～』 近年、重要な労働問題となっているいわゆる「ブラック企業・ブラックアルバイト」問題を素材にしなが、職場に働く労働者の労働条件や労働環境がどのような法律により、どのように保護されているのかについて講義する。
8	経済学	専修大学	『「社会保障」って～幸せに暮らすヒントを考える～』 私たちの暮らしは、何事もなく無事に日々営まれていけば良いですが、そうもいかない時があります。偶然の事故に遭遇するだけではなく、赤ちゃんが生まれたりさらには高齢者となる等、誰もが経験するかもしれないことが原因となって、毎日の生活を続けることが難しくなる場合もあるのです。日々の暮らしが「つつがなく」続けられるように、人類の発明した仕掛けが「社会保障」です。この授業ではそんな「発明」のエッセンスを学びます。
9	経営学	産業能率大学	『チームを前に進める「ロジカルシンキング」を学ぶ』 チームづくりには「人を巻き込む力」が大切。そこで役立つのが「ロジカルシンキング」です。チームを前に進めるリーダーシップ必須のスキルとして、社会人3年目までには身に付けたい力です。今回は高校生のみなさんにも今から実践して役立つ「ロジカルシンキング」を部活など身近な事例から学びます。
10	教育学(小・中・高教員養成)	玉川大学	『青年期の発達ーアイデンティティの確立にむけた「自分探し」』 人間は一生の間、発達を続ける存在ですが、その中でみなさん高校生の時期は、「青年期」にあたります。スイスの思想家J.-J.ルソーは、青年期を「第二の誕生」の時期だと述べました。青年期は、他者とは違う一回限りの存在としての自己に気づき、自分自身の生き方を真剣に考えるようになる時期です。アイデンティティ(自分の存在理由)の確立こそ、青年期の最も重要な発達課題だといえます。しかし複雑で先の見えない現代社会において、自分のアイデンティティを確立し、生き方を見定めていくことは容易な課題ではありません。また、青年期に一度確立されたアイデンティティが一生続くとも限らず、人生には挫折や転換も起こります。この授業では、主として発達心理学の観点から「自分探し」の時期である青年期の発達の姿をE.エリクソンのライフサイクル論に基づき、アイデンティティ形成の問題を中心に考察していきます。受講生のみなさんがまさに現在直面している課題だと思しますので、みなさん自身にいくつか実践的な演習活動も行って頂きます。ぜひ「当事者」として、主体的にこの授業に関わっていただけたら幸いです。
11	幼児教育学・保育学	東京都市大学	『保育士になるために大切なことー発達心理学の視点からー』

2・1年次 大学模擬授業(出張講義) 講座一覧

日時： 2017年11月9日(木) 13:25~14:55(90分)

横浜市立戸塚高等学校

座番	講座名(系統)	学校名	テーマ・授業内容(予定)
12	幼児教育学・保育学	東洋英和女学院大学	『子どもが楽しみながら学ぶ自然科学』 風を用いて、空気(気体)の存在を子どもに知らせよう
13	理学(化学)	北里大学	『不斉分子と光学分割、不斉合成』 分子の世界にも右手と左手のように、元の像と同じものにならない分子(不斉分子)があります。これらの結晶の形、旋光性の違い、分離方法、あるいは触媒を用いた合成法について紹介します。
14	工学(建築工学)	東京都市大学	『学校環境を化学する』
15	工学(機械工学)	東京電機大学	『なぜ私が現在の専門(医用工学)に進んだか』 高校時代あまり勉強しなかった私が、どんなきっかけで、どうやって機械系の学科を選び進路を決定し、現在の専門である医用工学の道に進んだのかについてお話しします。
16	工学(情報工学)	工学院大学	『「情報学」が目指すもの(仮)～情報って何だろう?～』
17	農学	東京農業大学	『農学ではこんなことも学べるのか?!～現代版の農学・動物科学研究とは?～』 数多く存在する学部の中で「農学」や「畜産学」と言われるとどんなイメージを持ちますか?“泥臭い感じ?え、農家になるの?ちょっと古いイメージ?家畜を育てる?(合っていますが)”という印象でしょうか。確かにそのような印象を持つ人もいます。しかし現代の畜産・動物生命科学研究はもっと最先端を進んでいます。畜産・動物生命科学研究は本当に幅広い分野から成り立っています。動物を育てる・改良する・増やす、そしてミルク・肉・卵などを生産・加工することなどを中心とし、動物の体の仕組み・栄養・病気の予防なども研究します。その中でも、私たちの専門分野は「動物生殖学」です。この分野はどのように役立っているのでしょうか?実は、この分野から「人工授精・体外受精」など様々な技術が確立され、動物の増産に貢献しているだけではなく、産婦人科分野をはじめとする医学分野に大きく貢献しています。ヒトの不妊治療には畜産・生殖学から発展した技術が多くありますし、体細胞クローンやIPS細胞などには生殖・生殖工学技術が必要不可欠です。今回は幅広い「農学・動物科学」の紹介から、生殖研究とはどのようなものなのかをお見せする予定です。
18	看護学	東京工科大学	『看護職(訪問看護師)の仕事とやりがい』 訪問看護師の仕事の一例として、肺の病気を持つ療養者への在宅酸素療法の看護について体験型(酸素測定)を取り入れた授業の他、キャリアデザインややりがいについても学ぶ機会とします。
19	薬学	昭和薬科大学	『体を守る薬学』 病気になったら薬を飲む、薬には体を治す役割が求められています。でも、もし病気にならないのなら薬を飲む必要もありません。様々な病気の元や害のある環境を未然に見つけて取り除く、これも薬学の一つの役割です。今日は、病気にならないのをあらかじめ防ぐ「衛生」に関わる薬学について身近なところからお話ししたいと思います。
20	理学療法	国際医療福祉大学	『大学における理学療法士教育』 大学で学ぶ理学療法士教育について講義するとともに運動学や理学療法士の仕事について解説します。
21	食物栄養学	神奈川県立保健福祉大学	『栄養学の基本～あなたは自分の適正量を知っていますか?～』 私たちが体は食べ物でできています。バランスよく食べることで適正な栄養状態が保たれます。では「バランスの良い食事」とはいったいどういう食事でしょうか?今回の授業では、そのバランスに視点を当てて、さらに皆さんのエネルギー必要量も確認しながら授業を行います。
22	体育学	順天堂大学	『体育の授業を科学する』 保健体育科教員の主な仕事である体育の授業の展開方法について、科学的アプローチから良い体育授業を検証します。
23	音楽Ⅰ	国立音楽大学	『映画音楽について』 映像に音楽をつくることについて考えていきます。
24	音楽Ⅱ	日本大学	『モーツァルトの真実に迫る』 映画、旧来の説、逸話などを通して作り上げられてきたモーツァルト像に、近年の音楽学の研究成果をふまえ、新たな光をあてる。
25	美術	武蔵野美術大学	『「情報」と「デザイン」の掛け算を体験する画像制作』 既存の写真がある方法でアレンジし、みんなでみたこともないグラフィックデザインを制作します。
26	データサイエンス	横浜市立大学	『データサイエンスって何だろう?』 日本では欧米と比較し、データ分析のスキルを有する人材が極めて少なく、近年のICT化に伴ってデータサイエンスの重要性がますます高まっています。本講義では、データサイエンス学部での学び、データサイエンスの社会的な役割と仕事内容、未来の可能性についてわかりやすく説明します。